

ふいにふいに

No.139

歌川広
一東海道
浮世絵
今も往
見られ

中部
4.古東山道
(日本武尊の古道)
長野県伊那谷周辺(駒ヶ根市)

古墳時代、大和朝廷が東国支配をするために用いた古東山道。その全貌は明らかになっていないが、長野県の伊那谷を通過していたと推察されている。「日本武尊は東征の際にこの道を利用、大御食神社にて、地元住民に食事や酒を振る舞われた」という伝説があります。



近畿
6.須磨・平家ゆかりの山陽道
兵庫県神戸市須磨

大和朝廷と九州の大宰府を結ぶ幹線道として発展した山陽道。散策におすすめなのが、源平ゆかりのスポットが集まる兵庫須磨エリアだ。一ノ谷合戦の舞台で、現在は公園として整備されている須磨浦公園。敦盛公墓所や義経屋敷の松が残る須磨寺などを巡りたい。「平清盛はこの地に港を開き、宋(中国)と貿易を行いました。海辺のハイキングもぜひ」。



北陸
5.若狭鯖街道 福井県小浜市～京都市

魚介類運搬の物流ルートとして使われた若狭と京都を結ぶ街道鯖が多かったことから、近年では鯖街道と呼ばれている。「最もきれいな、今もにぎやかな道を巡らせるのが若狭鯖街道。福井県小浜から朽木を通り、京都の出町柳に至ります」。

北海道
1.道南十二館の道(江差街道)
北海道函館市～上ノ国町

道南十二館は、14～15世紀に築かれた渡邊頼主の館の総称。函館市の志賀館から上ノ国町の花沢館まで、渡島半島南端の海岸線に城館跡が点在する。「頼朝氏の館跡は規模が大きく、見応えがあります。アイヌを含む和人墳墓600基が現存し、国指定の史跡になっています」。



北海道から九州まで人気のコースを厳選

気軽に気持ち良く歩ける 日本各地の7街道

宮田さんが全国各地の街道から、地方独自の歴史や文化を感じられるコースをセレクト。さわやかな春の日差しを浴びながら、自分のペースでゆっくりと歩くことが大切だ。



関東
3.箱根路(平安・鎌倉古道)
神奈川県小田原市～静岡県三島市

802(延暦21)年、富士山の噴火によりそれまで箱根越えの道として使われていた足柄越えが閉鎖。その代用として発達したのが、箱根路(平安・鎌倉古道)だ。「鎌倉時代の紀行文『十六夜日記』に登場する歴史ある街道。関所跡や古い神社など、見どころが満載です」。



東北
2.蝦夷古道

岩手県平泉町、奥州市周辺

奥州藤原氏と源頼朝の攻防など、数々の戦の舞台になった平泉。平安時代初期にはアテルイの戦いが勃発し、朝廷と頼朝の支配を巡る戦いで10年以上にわたる戦乱が繰り返された。「古戦場や蝦夷軍の最大将であるアテルイの墓跡が残り、戦いの歴史を学べます」。